メーデーの歌

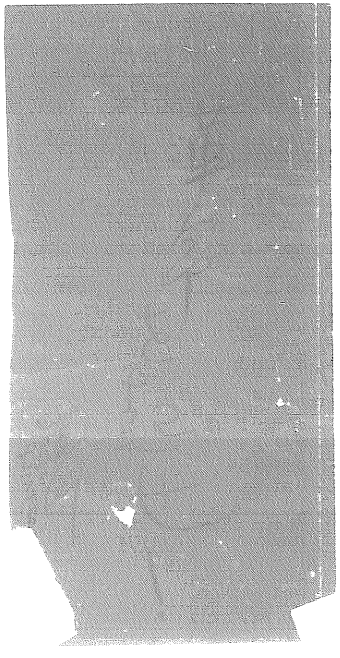
一、聞け萬國の勞働者
　嚠喨きわたるメーデーの
　示威者に起る足どりと
　未來を告ぐる鬨の聲。

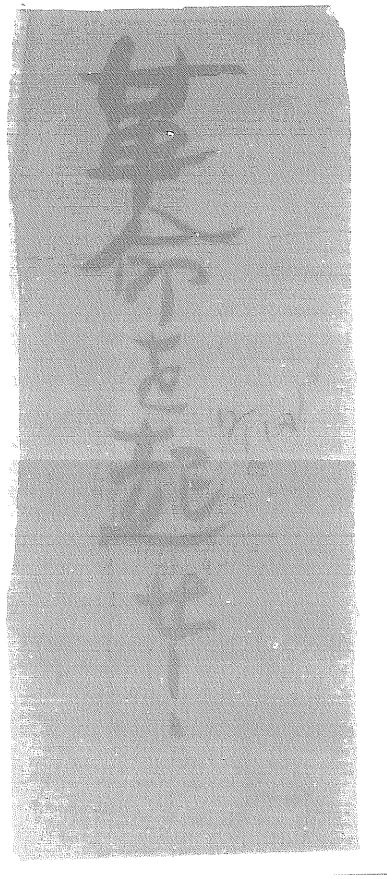
二、汝の部署を放棄せよ
　汝の價値に目覺むべし。
　全一日の休業は
　社會の虐僞を撃つものぞ。

三、永き搾取に憤みたる
　無産の民よ蹶起せよ。
　今や二十四時間の
　階級戰は來りたり。

四、起て勞働者奮ひおられし生産を。
　正義の手もて取り返せ
　彼等の力なにものぞ。

五、我等が大いなる目的に向ひ
　掲げられたるメーデーの旗を。
　生れメーデーに活躍する勞働者。
　守れ





メーデー

メーデーに關する諸種の問題については、本誌の他の頁に於て、それぞれ詳しく述べられてゐるから、ここでは、メーデーの歴史的意義について、簡單に述べておきたい。

メーデーは、一八八九年七月、パリに於て開かれた第二インターナショナル創立大會の決議に基いて、翌一八九〇年五月一日、全世界の勞働者が、一齊に、八時間勞働制の實現を要求して、大示威運動を行つたのが、その始まりである。

メーデーの場所

東京　日比谷公園
大阪　中之島公園
名古屋　八事山
その他全國各地　定まつた公園、野原、

無産者同盟

神戸
京都
岡山

（全國十團體聯盟）